

事業所名 指定通所支援 こあらっこ(児童発達支援) 支援プログラム(参考様式) 作成日 R6 年 12 月 3 日

法人(事業所)理念	地域貢献、社会貢献を念頭に置き、子どもさん一人ひとりの特性を見極めながら、将来を見通した展望のある支援を心掛けるとともに、子どもさんと保護者さんに寄り添い温かい支援を行うことを理念としていきます。		
支援方針	的確なアセスメントに基づき、子どもさんの特性とその社会福祉環境全般を把握したうえで、5領域を考慮した個別支援計画を構築し、精神面、認知機能や運動機能、言語発達面においての専門的な発達支援を行っていきます。 保育士、心理士、言語聴覚士、作業療法士などの医療的な専門職が子どもの障害特性に応じて個別で専門的な支援を提供していきます。		
営業時間	月曜日～金曜日 11時00分から18時00分まで	送迎実施の有無	あり (なし)
支 援 内 容			
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>①食事、排泄、着脱、歯磨きなどの視覚情報を提示し1人ひとりの発達段階に応じてスモールステップで獲得できるよう支援していきます。</li> <li>②通所時に健康チェック(体温、表情、様子確認)を行い、安心して過ごせるように配慮していきます。</li> <li>③写真、絵カード、スケジュール等を用いて活動の構造化を行っていきます。</li> <li>④支援ボードを用いて活動内容を視覚化して予告し先を見通す力が育つよう支援していきます。</li> <li>⑤活動の切り替え時には、時間や手順を示し、切り替え力を高める関わりを行っていきます。</li> </ul>	
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> <li>①マット、平均台、トンネル、ボルタリング、跳び箱、スイング等を使用し走る・跳ぶ・くぐる・登るなどの基本的動作を組み合わせたサーキット運動を行っていきます。</li> <li>②粗大運動や集団遊びを通して、楽しみながら身体を動かす機会を提供していきます。</li> <li>③前庭感覚、触覚、固有感覚等を意識した運動遊びや活動を行っていきます。</li> <li>④微細運動及び巧緻性の発達を促し、目と手の協応動作や操作性を高めていきます。(折り紙、シール貼り、ひも通し、洗濯ばさみ、パズル、工作等)</li> <li>⑤イライラや不安を感じた際に、運動を通して気持ちを切り替える方法を身に付けていきます。(運動活動によるストレス発散)</li> </ul>	
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> <li>①絵カード、写真、具体物等を用い、物の名称や用途等の知識の獲得を支援していきます。</li> <li>②繰り返しの活動やルーティンを通し、記憶力や再生力を育てていきます。</li> <li>③指示理解や課題の意味を確認しながら理解力を高める関わりを行っていきます。</li> <li>④分類・比較、絵柄等を合わせる活動により、マッチング力を育てていきます。</li> <li>⑤考えて選ぶ、順序立てて取り組む活動を通し、思考力を養っていきます。</li> <li>⑥文字カードや絵カードを用い、ひらがなに親しむ活動を行っていきます。</li> <li>⑦活動の中で「多い・少ない」「順番」「増える・減る」といった計算の基礎となる概念に触れていきます。</li> </ul>	
	言語コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>①絵本、絵カード、写真、具体物等を用い、物や行動の名称に触れながら語彙力の拡大を支援していきます。</li> <li>②実体験と結び付けて言葉を使うことで、言葉と意味の理解・定着を促していきます。</li> <li>③選択提示や問いかけを行い、自分の気持ちや考えを言葉で伝える表現力を育てていきます。</li> <li>④「大きい・小さい」「多い・少ない」「前・後」等の言語概念に触れる活動を行っていきます。</li> <li>⑤指導員との対話や集団活動(遊びやゲーム等)を通して、相手の言葉を聞き、やりとりする経験を積んでいきます。</li> <li>⑥言語聴覚士が関わり、子どもの発音や発語の様子を把握した上で発達段階に応じた支援を行っていきます。</li> </ul>	
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> <li>①小集団での遊びや活動を通して、集団活動への参加経験を積んでいきます。</li> <li>②順番を待つ、決まりを守る等の基本的なルール理解を支援していきます。</li> <li>③ゲームや遊びを通して、勝ち負けのある場面を経験し、気持ちの切り替えを促していきます。</li> <li>④友達と一緒に取り組む活動を通して他児との協調性を育てていきます。</li> <li>⑤ロールプレイや場面設定を用い、適切な関わり方や伝え方を学ぶ機会をお設けていきます。</li> <li>⑥遊びや生活場面の中で状況に応じた行動の選択や振る舞いを経験的に身につけられるように支援していきます。</li> </ul>	
家族支援	本人の思いや特性、現状などを保護者と情報共有を図りながら円滑な意思疎通が行えるように支援をしていきます。	移行支援	本人の特性を踏まえて一貫した支援を行う為情報共有や支援内容の連携・取り組みを行います。
地域支援・地域連携	関係機関で役割分担を行うと共に、それぞれの機関で得られた情報を共有し、日常生活や支援に活用するための具体策を提案していきます。	職員の質の向上	法人内や事業所での研修を行いながら職員の質の向上を図っていきます。
主な行事等	日曜日や祝日にイベントの開催や季節に応じた制作活動、交通安全等の受講などを行います。		